

# 平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 河西中 学校
校長氏名	東方 美喜夫
作成日	平成 30年 2月 14日

## 1 教育目標

「自主的でたくましく、心豊かな生徒の育成」  
 深く考え思いやりのある生徒、進んで学びみがき合う生徒、健康でたくましく体力のある生徒の育成

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
<b>重点目標【P】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともにある学校づくりを推進する。</li> <li>・地域との交流を深め行事や自治会活動等に積極的に参加する。</li> <li>・保護者との信頼関係を強化する。</li> <li>・校内の環境を整え、保護者や地域の方々が訪問しやすい環境をつくる。</li> <li>・関係機関との連携を密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全体を通して道德教育の充実を図る。</li> <li>・体験活動の充実を図る。</li> <li>・人権同和教育を推進し、人権意識を高める。</li> <li>・不登校生徒へのきめ細かな対応を図る。</li> <li>・規範意識を高めるための取組をする。</li> <li>・教師と生徒、生徒同士の人間関係づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の定着を図る工夫をする。</li> <li>・「学び合いの授業づくり」を推進する。</li> <li>・家庭教育の習慣化を図るための工夫をする。</li> <li>・キャリア教育を推進し主体的に将来の生き方を考え進路選択ができるようにする。</li> <li>・特別支援教育を充実させる。</li> <li>・通級指導教室の活用を充実させる。</li> </ul>

<b>取組の状況【D】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全推進員とPTA役員の協力における挨拶運動を毎月1回1週間実施できている。</li> <li>・子ども会活動や地域の行事等に参加できている。</li> <li>・メール連絡システムを活用し保護者に情報を素早く発信できている。</li> <li>・ホームページを随時更新しながら積極的に学校の教育活動を知らせることができた。</li> <li>・学校便り、学年便り等を発行し多くの情報を発信できた。</li> <li>・気になる生徒の家庭について、家庭訪問や連絡をきめ細かく行っている。</li> <li>・学校行事や学校開放週間だけでなく、いつでも地域の人や保護者が訪問しやすい工夫に努めた。</li> <li>・子どもを育てる協議会や地域各種団体との交流の場に積極的に参加できた。</li> <li>・子ども会や地域小学校との連携を密にとれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道德の時間の研究授業を実施できなかった。</li> <li>・道德性の育成を図るために職場体験活動や学校美化活動を実施できた。</li> <li>・人権同和教育に組織的・計画的に取り組めた。</li> <li>・不登校解消に向けケース会議を積極的に実施し関係機関との連携を密にとることができた。</li> <li>・不登校生徒家庭については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、地域主任児童委員等と連携をとり指導・支援の方法や状況について情報交換を行いながらすすめることができた。</li> <li>・教室に入りにくい生徒のためサポート教室を設置し活用している。</li> <li>・生徒指導委員会や学年会で生徒の情報交換をきめ細かく行い共通理解のもと全教職員で取り組む体制がとれている。</li> <li>・休憩時、昼食時、清掃時、部活動時等あらゆる機会に生徒との交流を通して生徒理解に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学調の結果を分析し学力課題を明確にし学力向上を図るための方策を打ち出すことができた。</li> <li>・学び合いの授業づくりについては4回の公開研究授業と協議会を実施することができた。</li> <li>・学生ボランティアを活用した授業展開を実施できている。</li> <li>・教室の空調設備工事のため、夏休み中の「学習相談日」を開設できなかった。</li> <li>・将来の進路選択ができるように情報提供も含めてきめ細かな指導に努めることができている。</li> <li>・職場体験活動、職業調べ等、進路に係る学習を充実させることができています。</li> <li>・支援が必要な生徒の個別の指導計画を作り指導の一貫性と情報の共有化ができている。また、小中の連携シートの作成・活用もできている。</li> <li>・河西ブロック特別支援連絡協議会で積極的な情報交換を行えた。</li> </ul>
-----------------	---	--	---

<p>取組の成果と課題 (評価結果【G】)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とPTAの協力による挨拶運動をより活性化させる必要がある。</li> <li>・保護者及び地域住民による学校行事への参加、観覧は多いが、授業の参観者が少なく課題である。</li> <li>・文化祭では合唱発表会だけでなく地域の公民館活動の展示もあり、来校者をもてなすためにPTAカフェも開設でき好評を得た。</li> <li>・木本・松江地区子どもを育てる協議会では、校区内の子どもの健全育成や地域の教育力向上のため活発な意見交換ができており、学校の情報公開の場としても機能できている。</li> <li>・学校美化活動ではPTA役員による「河西うどん」の提供もあり、生徒とPTAが一体となった取組となった。</li> <li>・総合的な学習の時間等において地域の人材を活用した取組ができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間については組織的・計画的な取組が課題である。</li> <li>・自然体験活動等の体験学習を取り入れることができなかった。</li> <li>・いじめの実態把握のため「いじめアンケート」の実施をしているが、表面化されないケースもあるものと思われる。</li> <li>・地域やPTA役員の協力による挨拶運動では生徒会も積極的に取り組み、生徒相互のみならず地域の方々とも気持ちの良い挨拶を交わすことができている。</li> <li>・人権同和の学習に組織的・計画的に取り組めており、生徒の人権意識も高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合いの授業づくりの推進のため、研究授業や研究協議会のさらなる充実が必要である。</li> <li>・全国学力・学習状況調査の結果分析を今後の具体的な取り組みに反映させていかなければならない。</li> <li>・全ての教科等において和歌山の授業づくりの基礎基本3か条を意識した取り組みが望まれる。</li> <li>・授業中の私語や机に伏したままの生徒等、学びに向かう力に欠ける生徒がいることが課題である。</li> <li>・チャイム着席の実現のため、チャイムで授業を始めようと常に意識し取り組む必要がある。</li> <li>・家庭学習を身につけさせるため、家庭学習の課題の与え方が課題であるが、家庭学習支援サービスの提供と周知の結果、活用できている生徒も増えている。</li> </ul>
<p>改善方法【A】 次年度に向けての</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び合いの授業づくり」の取組を保護者や地域住民に周知し、多くの人が参観してみたいと思えるような公開授業を目標にする。</li> <li>・多くの保護者や地域住民の方々の来校を促すため、生徒が主体性を持って取り組む体育的行事及び文化的行事をさらに充実させるとともに、その実施日や内容等をHPやメール連絡システム等を通して事前に広く周知していく。</li> <li>・保護者や地域住民に向けて学校図書館ボランティアを募集し、学校図書館運営を活発にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶運動の期間だけでなく、日常生活の中で生徒相互で、生徒と教員の間で、また、来校される人に対しても自然な挨拶ができるように心がける。</li> <li>・学校図書館及び職員室前本貸し出しスペースをより充実させていく。</li> <li>・いじめの実態をより確実に把握するために、アンケートの方法を工夫していく。</li> <li>・道徳の時間の研修、読み物資料の充実及び地域の人材の確保を図るなど教材や人材の開発、指導方法や内容の工夫を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び合いの授業づくり」と「授業づくりの基礎基本3か条」の実践を推進させるために教員相互の授業参観の機会を増やし、授業改善や授業力向上についての協議会を充実させていく。</li> <li>・発達障害についての研修を深め、具体的な支援の方法について検討し、共通理解を図りながら指導支援に当たっていく。</li> <li>・放課後の補充学習、長期休業中の質問教室の実施、家庭学習支援サービスの活用など基礎基本の定着のための環境を整備し、活用していく。</li> </ul>

### 3 その他の課題

#### ○生徒指導に関する課題

・主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善や生徒が主体的に取り組める学校行事の実践は積極的な生徒指導であるという認識を持ちながら取り組んでいくこと。

・問題行動には「素早く、機敏にチームで対応」を合い言葉として取り組むこと。

・共通理解のもとで一貫した指導を行うため、教員相互で報告・連絡・相談・確認を密にすること。

・地域住民及び関係機関との連携を密にとりながら生徒の健全育成、見守りに努めること。

#### ○情報セキュリティに関する課題

・情報セキュリティの維持向上、ポリシーの周知徹底、緊急時の対応などについて具体的な取組を進めること。

#### ○防災教育に関する課題

・巨大地震発生による津波避難場所、避難経路の周知徹底と避難訓練の取組を進めること。